

藤十郎の恋

篠井英介

西松布咏

演目

『黒髪』

舞踊 篠井英介

唄と三絃 西松布咏

『藤十郎の恋』 菊池寛

朗読 篠井英介

唄と三絃 西松布咏

2023年
6月24日(土)

登録有形文化財
よし梅 芳町亭

第一部

12:00 開演(11:00 開場) 13:00 食事
懐石弁当付き席 14000 円
鑑賞のみ席 7000 円

第二部

16:00 開演(15:00 開場) 17:00 食事
懐石コース付き席 20000 円
鑑賞のみ席 7000 円

3月23日 13時よりお申し込み受付開始

当代一の名優と謳われつつ、自身の芸に行き詰まり、人知れず苦しんでいた坂田藤十郎。ある夜、新境地となる役のため、貞淑な美しい人妻・お梶に偽りの恋を仕掛ける。菊池寛の名作「藤十郎の恋」を、篠井英介さんの朗読と、西松布咏さんの唄う富本の新作「お梶」でお楽しみいただきます



篠井英介 (ささい えいすけ)

1984年、男優だけのネオかぶき劇団「花組芝居」(前身・加納幸和事務所)に参加。看板女方として人気を博す存在となる。1990年退団後は女方のみならず、中性的な役や、悪役など、変幻自在の演技派俳優として活躍中。朗読やナレーションも得意とし、本人が取材・構成も担うNHKラジオ「マイあさ! 篠井英介のシアターへの招待」では演劇への博愛溢れた情報をユーモラスに発信。日本舞踊の宗家藤間流師範。名取・藤間勸智英の名を持つ



西松布咏 (にしまつ ふえい)

「美紗の会」「己紗の聲」主宰。6歳より長唄・三味線の手ほどきを受け、小唄・端唄・新内・富本節・作詞作曲の修行をする。西松文一師に見出され地唄を習得し、「布咏」の名で、地唄舞の地方の傍ら、現代に古典邦楽が普及するよう、異ジャンルの音楽や詩、美術との融合に挑み、新たな可能性を探る「ニュアンスの会」を国内外で展開。現在は古典曲を継承すべく後進の育成に努めながら、江戸中期の古曲から自作の現代曲まで「三味線と聲」に関わる演奏活動を模索している。去る5月「唄うことの原点」に戻るべく「光と闇のあわい」と題し、仁和寺の金堂で奉納演奏会を行った

ウェブサイト
<http://www.misanokai.com>



演目

『黒髪』

舞踊 篠井英介
 唄と三絃 西松布咏

『藤十郎の恋』 菊池寛

朗読 篠井英介
 唄と三絃 西松布咏

2023年6月24日(土)

第一部

12:00開演(11:00開場) 13:00食事
 懐石弁当付き席 14000円
 鑑賞のみ席 7000円

第二部

16:00開演(15:00開場) 17:00食事
 懐石コース付き席 20000円
 鑑賞のみ席 7000円

お申込:3月23日13:00より、電話03-3668-4069(平日11:00~20:00対応)にて承ります。今回は、FacebookやInstagramでのお申込みは、お受けしておりません。第二部のお食事は、名物のねぎま汁を含む、季節の懐石料理を予定しております(お飲物は別会計)。イベントにつき、個室でのご案内はいたしかねます。よし梅のFacebookにて本公演の予約案内を含む最新情報をご覧ください

※コロナウィルス感染対策を取りながらの開催となります。手指消毒、咳エチケットなどにご協力いただけます。マスク着用は、状況により、お願いすることがあります
 ※各回ともご希望のお客様には建物の解説・ご案内をいたします。開演30分前までにお越しください
 ※中学生未満のお子様のご来店はご遠慮いただいております



登録有形文化財 よし梅芳町亭

関東大震災直後に建てられた、戦前の数寄屋造り。芸者から女優になった花柳小菊が住んでいた時期もあり、屋久杉の天井や、樹齢500年の天然秋田杉の板戸など、現在は難しい資材を、贅沢に使い、登録有形文化財に指定されている

登録有形文化財

よし梅 芳町亭 中央区日本橋人形町1-5-2
 電話 03-5623-4422

東京メトロ日比谷線・都営浅草線 人形町駅下車 徒歩2分
 東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅 徒歩6分



よし梅のFacebookにて
 本公演の予約案内を含む最新情報をご覧ください

<http://www.yoshiume.jp>